

令和3年10月総務委員会所管事務調査

(令和3年10月20日)

1 1) 関係人口創出・拡大に関する事業について

(調査主任：宮崎 淳一)

2) 調査理由（目的）

ウィズコロナ・アフターコロナの時代に対して、新たな人の流れの創出を目的としたワーケーションの推進、テレワーク研修交流施設の現状及びビジネスマッチング等の推進の取り組みについて調査するもの。

3) 調査項目

① テレワーク研修交流施設について

ア) 施設の建設状況や進捗状況はどのようなか。

イ) 冬期までに外装工事は終了するか。

ウ) 令和4年4月の供用開始に対して、情報発信の取り組み状況と予測される効果はどのようなか。

エ) 市に対して問い合わせの状況はどのようなか。

オ) 施設周辺の通信環境はどうか。

② ビジネスマッチング等推進事業について

ア) 現在の取り組み状況はどのようなか。

イ) 市内企業の反応等はどのようなか。

2 1) 消防団の再編について

(調査主任：小嶋 正彰)

2) 調査理由（目的）

消防団は、地域の安全・安心を守る組織として市民の期待も大きいですが、団員の確保など課題も多く、再編は避けられないことから、課題と今後の対応について調査するもの。

3) 調査項目

- ① 再編に向けた消防団・地域との協議は、どのようであったか。課題は何か。どのように認識しているか。
- ② 多様化する災害とこれからの消防団の役割を踏まえた再編の方向性はどのようなか。

3 1) 地域のこし協力隊活動推進事業について

(調査主任：渡部 道宏)

2) 調査理由（目的）

地域のこし協力隊員が活動を展開していくためには、担当課のみならずさまざまなレベルでの支援体制が必要である。住民とともに地域のこし協力隊員による課題解決や地域力の維持、充実が図られているか調査するもの。

3) 調査項目

- ① 地域のこし協力隊員が定着しない理由と定着に向けた取り組み及び地域のこし協力隊員の将来の方向性はどのようなか。
- ② 地域のこし協力隊員の活動が地域に及ぼす影響及び地域力向上に対してどのように寄与しているか。

4 1) 空き家、特定空き家の現状と対応について

(調査主任：天野 京子)

2) 調査理由（目的）

空き家対策は、周辺に及ぼす環境など大きな課題があり、一朝一夕には解決しない事業ではあるが、深刻化している空き家の増減実態と特定空き家への取り組み等について調査するもの。

3) 調査項目

- ① 空き家の戸数及び空き家登録数の推移はどのようなか。
- ② 妙高市で空き家を探されるかたは、自然環境や景観、価格、立地条件、物価、コミュニティなど、どのような条件を示して探されているか。
- ③ 特定空き家の所有者への対応や取り組みはどのようなか。
- ④ 特定空き家を減らすための先進的な事業についての考えはどのようなか。